



カラーマネジメントソフトウェア

ColorNavigator 7



キャリブレーション
センサーを使用



ColorEdge専用カラーマネジメントソフトウェア

ColorNavigator 7

上級者向け

写真プリントガイドブック

この冊子では、ご自宅で写真データをプリントして楽しんで頂くための手順をご紹介します。

次の方は、ColorNavigator 7のダウンロードサイトに掲載している取扱説明書を参照してください。

- ・ 業務用途でお使いのお客様
- ・ Webコンテンツ作成などの用途でお使いのお客様
- ・ ColorNavigator 6をお使いいただいているお客様

www.eizo.co.jp/i/cn7_guide

ColorEdgeをColorNavigator 7でキャリブレーションすることで、正確な色表示を実現します。

カラーマネジメントモニター

ColorEdge®



キャリブレーションセンサー(別売)

カラーマネジメントソフトウェア

ColorNavigator 7



写真に収めたイメージ



モニターで表示する写真データ



プリンタで印刷する写真

モニターをキャリブレーションし、レタッチソフトやプリンタを正しく設定することで、モニターに表示されたデータとプリントする写真の色合わせができます。(カラーマッチング)

色合わせができると、撮った写真をイメージ通りに閲覧し、正しい色で微細なレタッチ補正も可能になります。思い通りのプリント作品づくりをおこないましょう!

キャリブレーションってなに?

目標とする表示結果となるように、センサーで測定した測定値を参照し、表示を調整することをキャリブレーションといいます。

キャリブレーションセンサーってなに?

モニターを目標に沿って調整するために、現在の表示状態を測定するためのセンサーです。



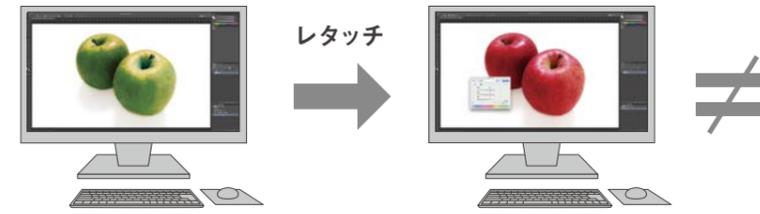
外付けのセンサー(別売)



内蔵キャリブレーションセンサー(CGシリーズ)

キャリブレーションをしていないと...

キャリブレーションをしていないモニターで制作



モニターに表示されるイメージと印刷物の仕上がりが違ってしまいます。

印刷物



せっかく手間をかけてレタッチをしたのにイメージ通りの色でプリントできない。



思い通りの色でプリントできなくて、何度も刷り直し、時間をムダにする。

キャリブレーションをすると

キャリブレーションしたColorEdgeで制作



完成印刷物を画面で確認しながら制作でき、作業効率と制作物のクオリティがアップ!

ColorNavigator 7を使えばほかにもこんなメリットが...



ColorNavigatorではそれぞれのカラーモードに目標を設定することができます。ColorNavigatorで設定した目標は、モニターのそれぞれのカラーモードに保存されます。コンピュータ上でソフトウェアを立ち上げなくても、モニター前面のモード切り替えボタンから簡単に目標に応じた表示に切り替えられます。

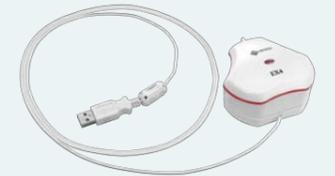
カラーマッチングの流れ

購入後の初期状態のモニターは、写真プリントに適した表示になっていません。そこで、写真プリントに適した状態にキャリブレーションする必要があります。

思い通りの作品を仕上げるため、モニターやレタッチソフト、プリンタの設定はもちろん、テストプリントをチェックするための環境整備までを含めて、最適な「カラーマッチング」をおこなしましょう。ここからはカラーマッチングの手順をご紹介します。

⚠ センサーをご用意ください。

キャリブレーションにはセンサーが必要です。センサーをお持ちでない方はご用意ください。
(CGシリーズは、内蔵キャリブレーションセンサーでキャリブレーションすることができます。)



キャリブレーションセンサー EX4

ご購入はこちらからどうぞ

EIZOダイレクト
direct.eizo.co.jp/shop/c/cCMTSNS

1 モニターとコンピュータの接続

正しく接続できているか確認する。



▶ 詳しくはP5へ

2 ColorNavigatorのインストール

ソフトウェアをダウンロードしてインストールする。



▶ 詳しくはP6～P8へ

3 モニターの調整 (キャリブレーション)

正しい色で確認できるように、あらかじめ写真プリントに適した表示に調整。



▶ 詳しくはP9～P14へ

4 表示レタッチソフトの設定

写真データをコンピュータに取り込み、正しい設定で閲覧、プリントする写真を選択する。



▶ 詳しくはP15～P16へ

5 プリンタの設定

正しい設定で、テストプリントする。



▶ 詳しくはP17～P20へ

6 環境整備

テストプリントを適切な環境光で見る。



▶ 詳しくはP21～P22へ

7 写真プリントの確認

テストプリントとモニター画面を見比べて、色が合っているか確認。
必要に応じて、モニターの微調整。



▶ 詳しくはP23～P24へ

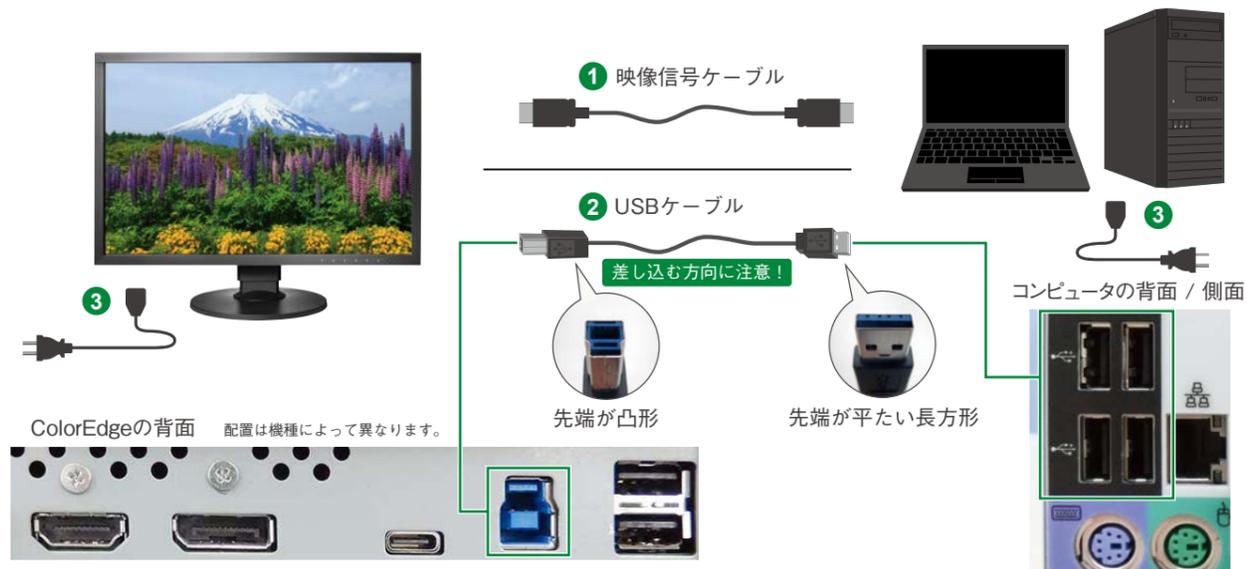
カラーマッチング完了!

画面の表示を信頼してレタッチ、プリント。
作品づくりを存分に楽しもう!



1. モニターとコンピュータを接続しましょう

スムーズにモニターのキャリブレーションを進められるように正しく接続してください。



1 映像信号ケーブルを接続する

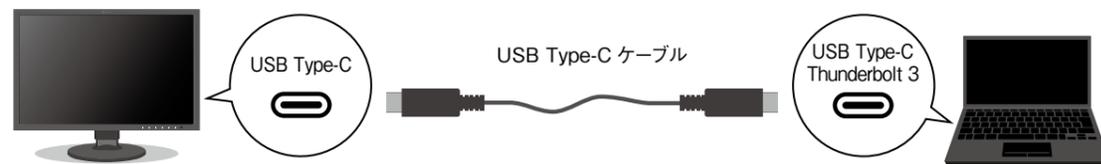
ColorEdgeとコンピュータの映像信号出力端子を接続します。

2 USBケーブルを接続する

USB端子の形状に注意しながら、ColorEdgeとコンピュータをUSBケーブルで接続します。

お使いのモニターにUSB Type-C コネクタがある場合

映像信号を出力できるUSB Type-C コネクタを持つコンピュータとUSB Type-C ケーブルを接続するだけで、映像信号とUSB 信号の両方の通信が可能になります。接続方法は、モニターのセットアップガイドを参照してください。



3 電源を接続する

モニター・コンピュータのそれぞれの電源コードを接続します。電源を入れて画面が表示できることを確認します。

ミラーリング表示を解除する

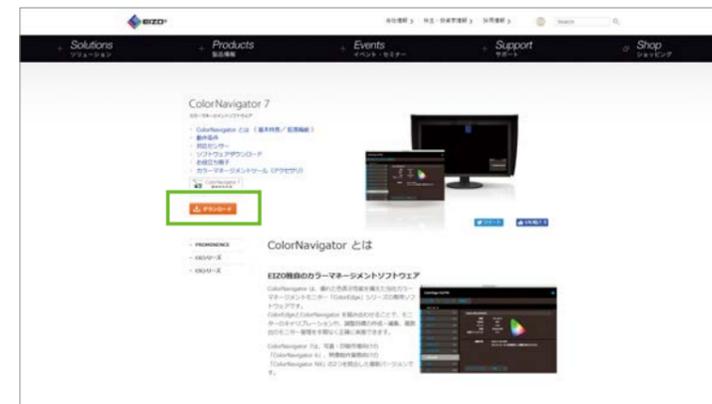
ノートパソコンとの接続など、ColorEdgeを他のモニターと使用する場合は、ミラーリング表示設定を解除しておく必要があります。



解除方法についてはEIZO Webサイトでご確認ください。
www.eizo.co.jp/i/coloredge_setup

2. ColorNavigator 7をダウンロードしましょう

1 ダウンロードサイトへアクセスする



ColorNavigator 7専用サイトからソフトウェアをダウンロードしましょう。
以下のURLへアクセスし、**ダウンロード** をクリックします。

www.eizo.co.jp/products/ce/cn7

2 ソフトウェアを選択する



お使いのコンピュータ環境にあわせて  (Windows) もしくは  (macOS) をクリックします。

3 ソフトウェアをダウンロードする



ソフトウェア使用許諾契約書の記載を確認し、**1** 画面下部にあるチェックボックス「上記の契約に同意する」をチェックしてから、**2**  (Windows) もしくは  (macOS) をクリックします。

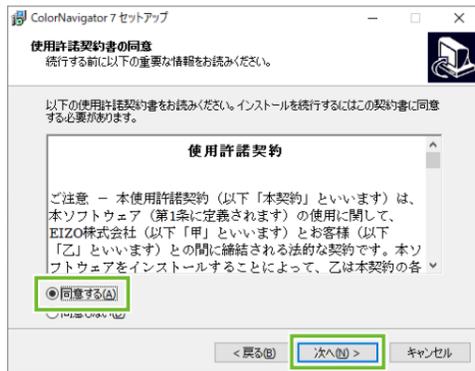
Windowsの場合は、**3** 「実行」をクリックするとインストールが始まります。
macOSの場合は、インストーラー起動ファイル(.pkg)のダウンロードが始まります。

2. ColorNavigator 7をインストールしましょう (Windowsの場合)

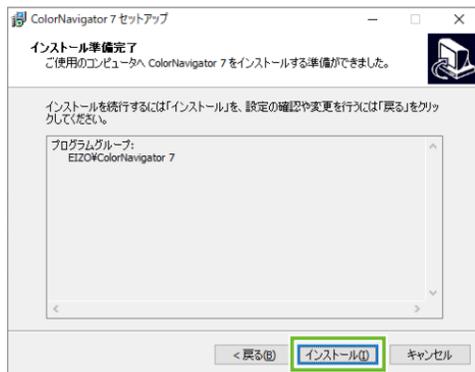
4 インストールを実行する



ウィザード画面の指示に従い、「次へ」をクリックして、インストールを進めます。



使用許諾契約画面では、記載内容を確認のうえ「同意する」をチェックして「次へ」をクリックします。



インストール準備完了画面で、「インストール」をクリックします。

⚠ インストール時に表示されるウィンドウについて

ColorNavigator 7のインストールと同時にセンサーのドライバも自動的にインストールされます。

インストールの途中で右記のようなウィンドウが複数回表示されることがあります。その場合はウィンドウが表示されなくなるまで「インストール」をクリックしてください。

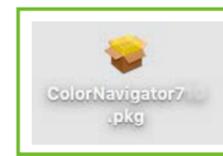


macOSにColorNavigator 7をインストールする際には、確認ウィンドウが表示される場合があります。「OK」をクリックしてください。



2. ColorNavigator 7をインストールしましょう (macOSの場合)

4 インストーラーを起動する



保存したインストーラー起動ファイル(.pkg)をダブルクリックします。

5 インストールを実行する



インストーラー画面の指示に従い、「続ける」をクリックして、インストールを進めます。



使用許諾契約への同意確認画面では、記載内容を確認のうえ「同意する」をクリックします。



インストール先を確認して、「インストール」をクリックします。



インストール完了のメッセージを確認して、「閉じる」をクリックします。

3. モニターをキャリブレーションしましょう

モニター表示と写真プリントの色合わせをするために、センサーを使ってキャリブレーションをします。

1 センサーを接続する

キャリブレーションをおこなうためにはセンサーが必要です。

CSシリーズの場合は、センサーをコンピュータまたはモニターのUSBポートに接続します。モニターの場合、USBポートはモニターの側面または背面にあります。

CGシリーズは、センサーが内蔵されているため接続は不要です。



⚠ モニターのウォームアップについて

CSシリーズはモニターの表示を安定させるために、モニターの画面を表示して30分経ってからキャリブレーションすることをおすすめします。

2 ColorNavigator 7を起動する

Windowsの場合



デスクトップ上のColorNavigatorのアイコンをダブルクリックします。

macOSの場合



Finderツールバーの「移動」 > 「アプリケーション」を選択して、アプリケーションフォルダを表示します。



アプリケーションフォルダ内の「ColorNavigator 7.app」をダブルクリックします。

📌 Dockにアイコンを追加する場合は

2回目以降、DockからColorNavigator 7を起動する場合は、ColorNavigatorをDockに追加する必要があります。メインウィンドウの表示中は、Dock上にアイコンが表示されます。メインウィンドウを表示した状態でDock上のアイコンを右クリックして、メニューから「オプション」 > 「Dockに追加」を選択します。



📌 初回起動時のウェルカム画面について

初回起動時のみ、導入画面が表示され、セットアップのために簡単な設問にご回答いただきます。画面中央の「Welcome!」をクリックしてください。その後、メインウィンドウが表示されます。2回目以降はアプリケーションを起動するとはじめにメインウィンドウが表示されます。



3 目標を選択する

メインウィンドウに表示されているメニューから、写真プリントに適したカラーモードと目標を選択します。

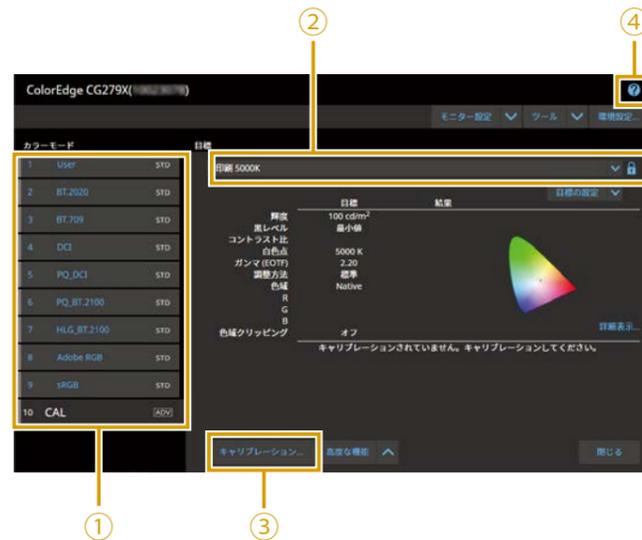


写真プリントに最適な目標として、①カラーモードを「CAL」、

②目標リストから「印刷 5000K」を選択します。

③「キャリブレーション」をクリックします。

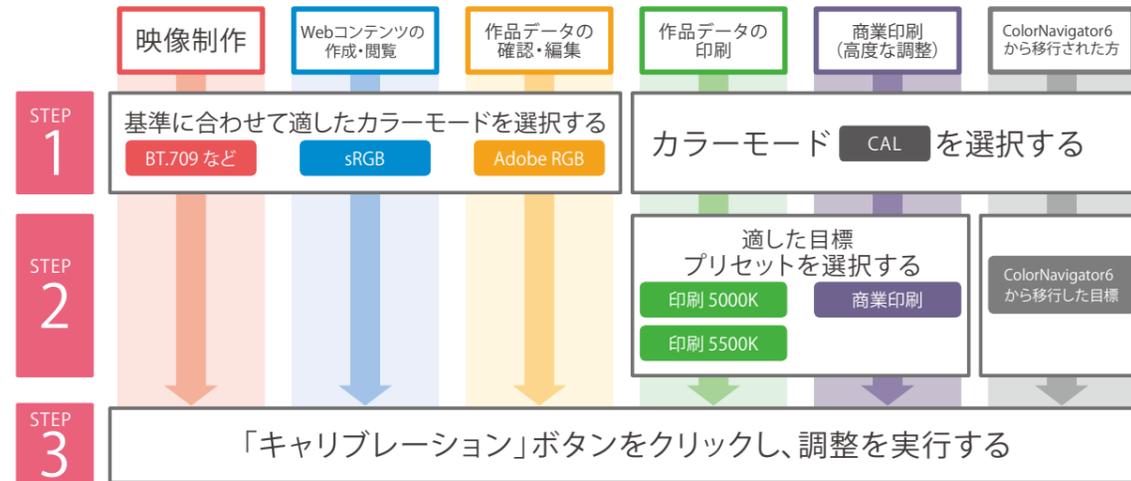
メインウィンドウについて



- ①カラーモードリスト
- ②目標リスト
- ③キャリブレーションボタン
- ④取扱説明書(ヘルプ)

調整目標について

ColorNavigatorでは用途に応じてさまざまな目標を準備しています。



印刷用としては、「印刷 5000K」、「印刷 5500K」、「商業印刷」の3種類の目標があり、自宅で写真プリントを楽しむ場合は「印刷 5000K」をおすすめします。「商業印刷」は業務用途です。

4 センサーを選択してキャリブレーションを実行する

キャリブレーションを実行すると、測定パターンが表示され、調整が自動的におこなわれます。

▶内蔵キャリブレーションセンサーを使用する場合はP13へ。

CSシリーズの場合(センサーを使用する場合)



「測定器」のリストから、接続したセンサー名を選択して、> をクリックします。

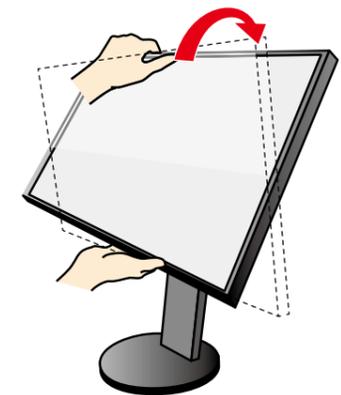
→センサー取り付けダイアログが表示されます。

表示された画面の指示に従ってセンサーを取り付け、「実行」をクリックします。



センサーを画面に取り付けるには

モニター部を上向きにするとセンサーがズレず、キャリブレーションしやすくなります。



CGシリーズの場合(内蔵キャリブレーションセンサーを使用する場合)



「測定器」のリストから、「内蔵センサー」を選択して、
▶ をクリックします。



「実行」をクリックします。

5 キャリブレーションを完了する

キャリブレーションが完了すると「完了」画面が表示されます。

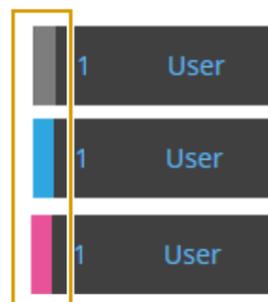


「完了」をクリックします。

カラーモードのステータス表示について

キャリブレーションが完了してメインウィンドウに戻ると、キャリブレーションしたカラーモードの左端の帯の色が青色で表示されます。カラーモードの状態によって、帯の色は異なります。

- グレイ : キャリブレーションが実施されていない状態
- 青 : キャリブレーションが完了した状態
- ピンク : 前回のキャリブレーションから時間が経過し、再キャリブレーションが必要な状態



定期的なキャリブレーションが必要な理由

モニターは使い続けると、経時変化が起きて徐々に暗くなり(輝度が下がる)、色味が変化する(白色点が変わる)ため、正しい状態で色を表示できなくなります。

そこで、正しい状態に戻すために、定期的なモニターの再調整(キャリブレーション)が必要となります。



ColorNavigator 7とColorEdgeを使うことで、定期的な表示調整も手間なく簡単におこなえます。

表示状態を維持するために定期的にキャリブレーションをおこなきましょう! 詳しい説明は、P25「モニターは定期的にキャリブレーションをしましょう」を参照してください。

4. 表示レタッチソフトを設定しましょう

モニター画面と写真プリントの色合わせをするためには、モニターを最適な状態に調整することに加え、表示レタッチソフトの設定が大切です。

カラーマッチングに対応している表示レタッチソフトで色の設定を正しくおこないましょう。正しく設定されたレタッチソフトを使って画像を開くことにより、調整された正しい色で画像を表示できます。

表示レタッチソフトのいろいろ

カラーマッチング対応の表示レタッチソフトには、コンピュータのOSに設定されたモニタープロファイルを自動で参照するものと、手動設定によって参照させるものがあります。

前者は初期設定のまま利用することができますが、後者はモニタープロファイルを参照し画像が正しく表示できるようにソフトウェアの設定を変更する必要があります。

初期設定のまま! 設定不要の安心ソフト
 Adobe® Photoshop®
 Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic
 Canon Digital Photo Professional など

SILKYPIXなど、その他の表示レタッチソフトでの設定は、EIZO Webサイトでご確認ください。

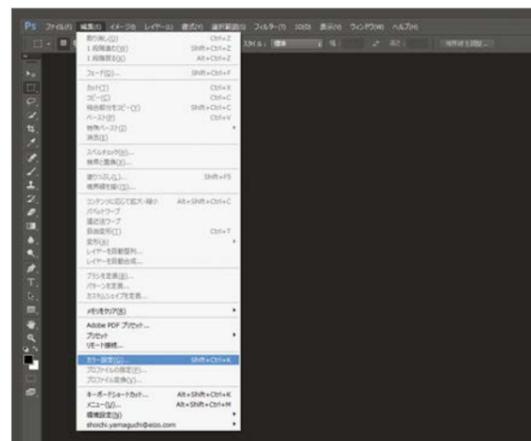
www.eizo.co.jp/i/retouch_soft

初期設定のまま使える表示レタッチソフト

初期設定のまま、コンピュータのOSに設定したモニタープロファイルを自動で参照する代表的なソフトとその初期値をご紹介します。

手動で設定を変更せずに、画像を正しく表示することができます。

Adobe® Photoshop



「編集」→「カラー設定」をクリック。



①設定に「一般用-日本2」が選択され、②カラーマネージメントポリシーに「埋め込まれたプロファイルを保持」が選択されている状態。

Canon Digital Photo Professional (Windowsの場合)



「ツール」のプルダウンメニューから「環境設定」を選択し、①「カラーマネージメント」を選択。②「作業用色空間の初期設定」で、色管理方法に合わせて、「sRGB」もしくは「Adobe® RGB」が選択され、③「カラーマネージメント設定」の「表示用」で、「OSの設定に従う」が選択されている状態。

Canon Digital Photo Professional (macOSの場合)



「Canon Digital Photo Professional」のプルダウンメニューから「環境設定」を選択し、①「カラーマネージメント」を選択。②「作業用色空間の初期設定」で、色管理方法に合わせて、「sRGB」が選択されている状態。

5. プリンタを設定しましょう

レタッチした写真データを忠実にプリントできるように、プリンタのカラーマッチング設定を正しくおこなうことが重要です。色合わせしたい写真をレタッチソフトで開いてプリンタの設定をおこないましょう。

印刷設定について

設定手順は以下の環境を例として説明しています。

- OS:Windows 10 ■プリンタ:EPSON SC-PX5V II / Canon PIXUS PRO-10S
- 用紙:EPSON EPSON写真用紙<光沢> / Canon 光沢プロプラチナグレード
- 表示レタッチソフト:Adobe Photoshop CC

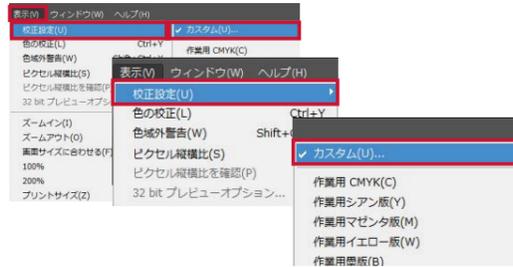
macOSやその他の表示レタッチソフトウェアでのプリンタの設定はEIZO Webサイトでご確認ください。

www.eizo.co.jp/i/printer

EIZOではテストプリントに活用できるプリントサンプルもご用意しています。詳細はEIZO Webサイトでご確認ください。

www.eizo.co.jp/i/sample_chart

1 レタッチソフトの校正設定をカスタマイズする(1/3)



Adobe Photoshopの「表示」のプルダウンメニューから「校正設定」→「カスタム」を選択します。

2 レタッチソフトの校正設定をカスタマイズする(2/3)



校正設定のカスタマイズ画面が表示されたら、**1**「シミュレートするデバイス」で使用する用紙のプロファイル※を選択する。
2「マッチング方法」で「相対的な色域を維持」を選択する。
3「黒点の補正」のチェックを外し、**4**「プレビュー」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックする。

- ※ 光沢プロプラチナグレードをPRO-10Sで印刷する際のプロファイル「Canon PRO-10S <PT> 1/2/3 Photo Paper Pro Platinum」
- ※ EPSON写真用紙<光沢>をSC-PX5VIIで印刷する際のプロファイル「SC-PX5V2 Photo Paper(G)」

3 レタッチソフトの校正設定をカスタマイズする(3/3)



「ファイル」のプルダウンメニューから「プリント」を選択する。プリント設定画面が表示されたら、右側の「プリンタセットアップ」を設定する。**1**「プリンター:」で「EPSON SC-PX5V2」または「Canon PIXUS PRO-10 Series」を選択し、**2**「レイアウト:」で縦/横を選択後、**3**「プリント設定」をクリックする。

EPSON編

ここではEPSON SC-PX5V II プリンタドライバの設定手順についてご紹介します。Canon PIXUS PRO-10S については、P19「Canon編」を参照してください。

4 EPSON プリンタドライバを設定する(1/3)



プリンタのプロパティ画面が表示されます。**1**「基本設定」タブを選択し、**2**「用紙種類」で「使用する用紙」を選択する。Photoshopによるカラー管理に従って印刷するため、プリンタ側の**3**「色補正」は「オフ(色補正なし)」を選択し、**4**「用紙サイズ」でプリントするサイズを選択して、「OK」をクリックする。

5 EPSON プリンタドライバを設定する(2/3)



プリント設定画面に戻って、「カラーマネジメントの設定」をおこなう。**1**「カラー処理:」で「Photoshopによるカラー管理」を、**2**「プリンタープロファイル:」で使用する用紙のプロファイル※をプルダウンリストから選択する。最後に**3**「マッチング方法:」で当社推奨の「相対的な色域を維持」を選択後、**4**「黒点の補正」にチェックを入れる。

※ EPSON写真用紙<光沢>をSC-PX5VIIで印刷する際のプロファイル「SC-PX5V2 Photo Paper(G)」

6 EPSON プリンタドライバを設定する(3/3)

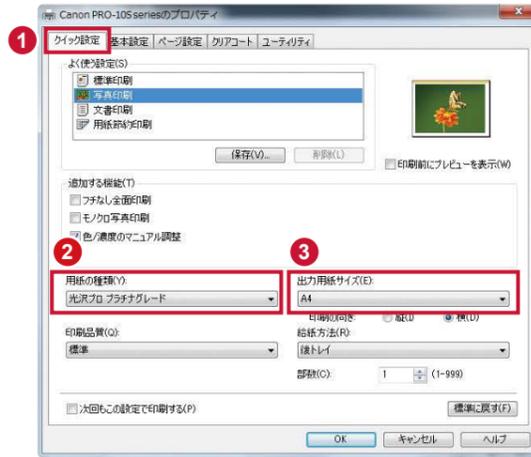


「位置とサイズ」でプリント範囲やサイズを設定し、「プリント」ボタンをクリックする。

Canon編

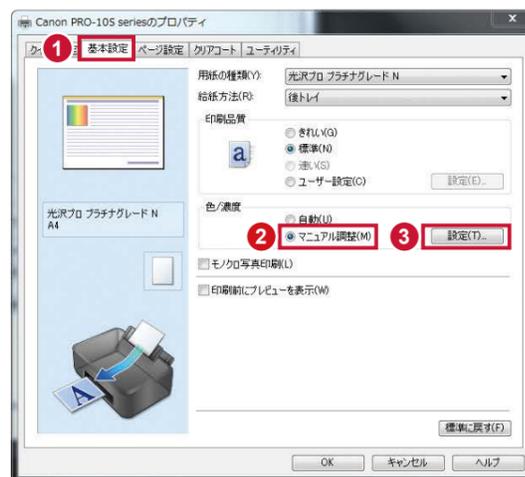
ここではCanon PIXUS PRO-10S プリンタドライバの設定手順についてご紹介します。
EPSON SC-PX5V IIについては、P18「EPSON編」を参照してください。

4 Canon プリンタドライバを設定する(1/6)



プリンタのプロパティ画面が表示されます。①「クイック設定」タブを選択し、②「用紙の種類:」で使用する用紙(例:光沢プロプラチナグレード)を、③「出力用紙サイズ:」でプリントするサイズを選択する。

5 Canon プリンタドライバを設定する(2/6)



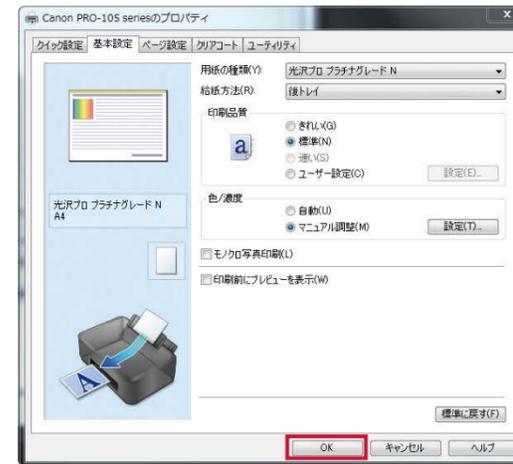
次に①「基本設定」タブを選択し、「色/濃度」で②「マニュアル調整」を選択し、③「設定」ボタンをクリックする。

6 Canon プリンタドライバを設定する(3/6)



マニュアル色調整画面が表示されるので、①「マッチング」タブを選択。Photoshopによるカラー管理に従って印刷するため、プリンタ側の色補正は②「なし」を選択し③「OK」ボタンをクリックする。

7 Canon プリンタドライバを設定する(4/6)



プリンタのプロパティ画面に戻るので「OK」ボタンをクリックする。

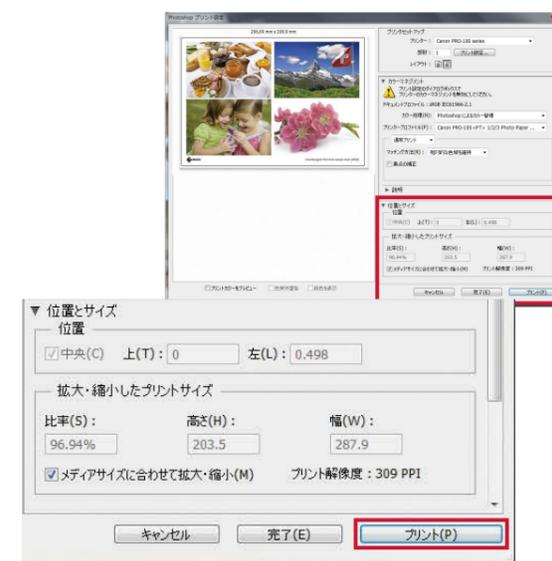
8 Canon プリンタドライバを設定する(5/6)



プリント設定画面に戻って、「カラーマネジメントの設定」をおこなう。①「カラー処理:」で「Photoshopによるカラー管理」を、②「プリンタープロファイル:」で使用する用紙のプロファイル※をプルダウンリストから選択する。最後に③「マッチング方法:」で当社推奨の「相対的な色域を維持」を選択する。

※ 光沢プロプラチナグレードをPRO-10Sで印刷する際のプロファイル
「Canon PRO-10S <PT> 1/2/3 Photo Paper Pro Platinum」

9 Canon プリンタドライバを設定する(6/6)



「位置とサイズ」でプリント範囲やサイズを設定し、「プリント」ボタンをクリックする。

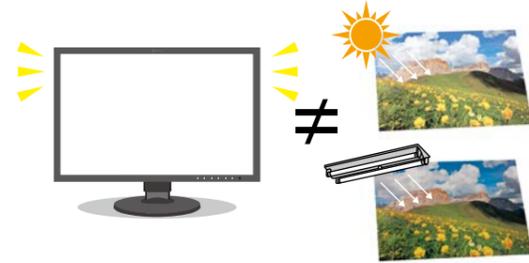
6. 正しい環境でプリントを確認しましょう

プリントした写真の見え方は周りの環境光によって変化します。正しく色を確認するためには、常に同じ条件で評価できるように照明を整え、環境光をコントロールする必要があります。

環境光について

夜に室内の照明で、モニター画面と写真プリントをマッチングできたのに、日中に外光のもとで見ると、合っていないように見えた経験はないでしょうか？

プリントアウトした写真は、周りの光（環境光）を反射してその反射光が人間の目に入ることによって、画像として認識されます。一方、モニターは環境光を反射するのではなく、それ自体が光を発しています。このため、モニターで見る色は環境光が変わってもほとんど変わりませんが、写真プリントは昼間の外光と夜間の室内照明では環境光の色が異なるため、プリントの色（反射される光）は異なって見えます。



理想の環境を考える

モニター画面と写真プリントの色を合わせるためには、プリントを見る部屋の環境整備がとても重要です。常に同じ条件で評価できるように、次のポイントに気をつけて理想的な環境を整えましょう。



理想の室内照明とは

部屋の照明は5000Kの高演色照明がおすすめ

写真プリントとの色合わせに適した照明のリストをEIZO Webサイトに公開しています。

www.eizo.co.jp/i/color_matching/environment

理想の環境作りをサポートするEIZOおすすめのアクセサリ

簡単に環境を整えられるデスクライト

望ましいのは部屋の備え付けの照明を変更することですが、それが難しい場合は、5000K、高演色光源のデスクライトを導入することで、手軽にプリントを見る環境を整えることができます。

Z-208PRO-5000K

色温度5000Kの高演色LEDスタンド



組立不要で、簡単に取り付けられる遮光フード

外光や画面からの反射も効果的に遮るEIZOオリジナル遮光フード。フードの内側は無反射加工を施してあるので、画面からの反射も防止します。

対応機種はEIZO Webサイトでご確認ください。
www.eizo.co.jp/products/ac/lcd_hood



7. 写真プリントを確認しましょう

最後に写真プリントの色を確認します。これまでの手順でモニターのキャリブレーション、表示レタッチソフトの設定、正しいプリントの設定をして、テストプリントをおこないました。プリントした写真とモニターの色を見比べましょう。



モニターで表示する写真データ



プリンタで印刷する写真

色合わせがしっかりできていたら、これでカラーマッチングの手順は完了です。環境要因などで、モニター画面と写真プリントの色合わせが今一步の場合のみ、以下の手動調整をおこないましょう。調整済みの目標に手動で微調整をおこない、色合わせの精度をアップすることができます。

1 手動でモニター調整する

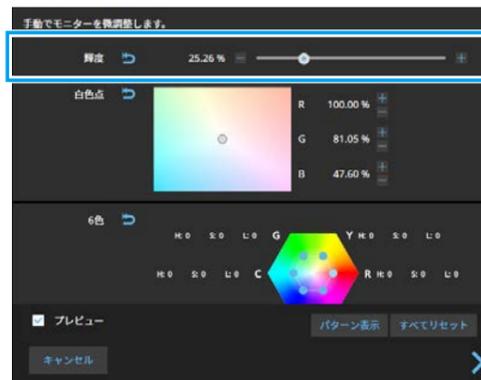
ここからは、色合わせの精度をアップさせる手順をご紹介します。



1 「CAL」を選択し、2 をクリックして、「手動調整」を選択します。

2 輝度を調整する

プリントとモニター画面を見比べながら輝度を調整します。



調整スライダまたは / を使って、モニターに表示されている画像がプリントの見え方に近づくように、明るさを調整します。

3 白色点を調整する

プリントとモニター画面を見比べながら白色点を調整します。



1 調整ポインタ () を動かしたり、 / によりRGBの値を変更しながら、モニターに表示されている画像がプリントの見え方に近づくように、色みを調整します。

6色の調整も表示されますが、ほとんどの場合必要ありません。調整する場合は取扱説明書を参照してください。

2 色合わせができたなら をクリックします。

4 センサーを選択して測定する

表示された画面の指示に従って、センサーを選択し、測定します。測定が完了すると、手動調整結果の画面が表示されます。



1 「完了」をクリックします。

2 「目標名」に表示されている名前で新しい目標がリストに追加されます。

色合わせがうまくいかない場合は

写真での色合わせが難しくうまくいかない場合は、印刷する紙と白色を見比べる方法もあります。

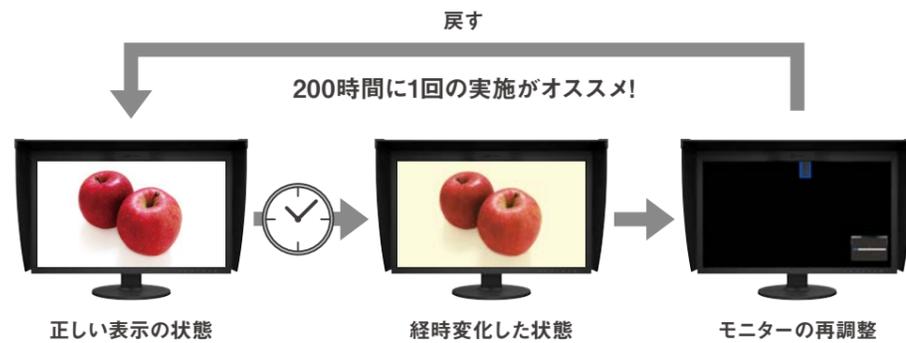
EIZOでは表示用の白色のサンプルデータをご用意しています。詳細はEIZO Webサイトでご確認ください。
www.eizo.co.jp/i/sample_white

白色が合ってもカラー部分が合わない場合は、プリンタの設定や性能の問題が考えられます。プリンタの各色の表示性能をお確かめください。



モニターは定期的にキャリブレーションをしましょう

ColorNavigator 7を使えば、定期的なキャリブレーションを簡単に確実に実施することができます。充実した管理機能によって、つい忘れがちな再調整のタイミングをアラート画面表示やカラーモードの帯をピンクに変更してお知らせします。また、センサー内蔵のモニターの場合は、定期的に自動キャリブレーションすること(SelfCalibration)が可能です。



モニターの管理方針を設定する

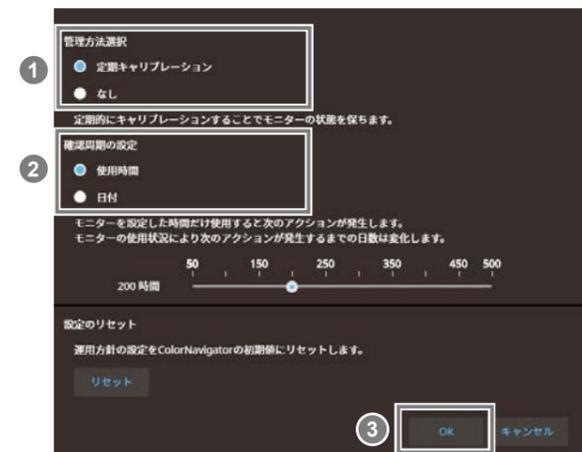
モニターの管理機能を使って、定期的なキャリブレーションをスケジューリングしましょう。



「モニター設定」メニューをクリックして「管理方針」を選択します。

CSシリーズの場合(センサーを使用する場合)

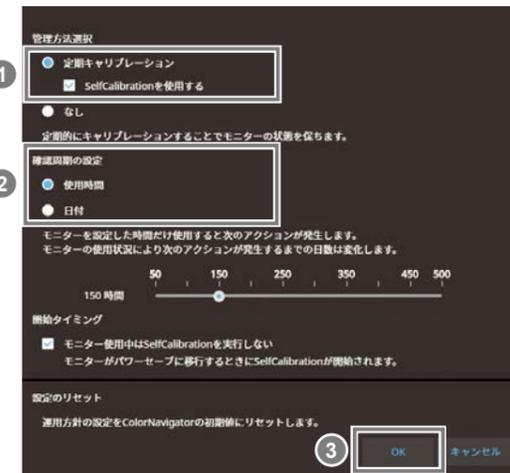
設定された情報をもとに、ColorNavigatorが調整時期をお知らせすることができます。



- 1 「管理方法選択」で「定期キャリブレーション」を選択します。
- 2 「確認周期の設定」で周期条件を設定します。使用経過時間の他に、月や週などの一定の日数で詳細に周期を設定できます。
- 3 「OK」をクリックして設定を完了します。

CGシリーズの場合(内蔵キャリブレーションセンサーを使用する場合)

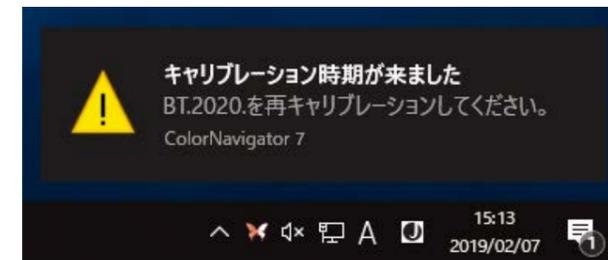
設定された情報をもとに、自動で定期的に再調整(SelfCalibration)を実行することができます。



- 1 「管理方法選択」で「定期キャリブレーション」を選択して、「SelfCalibrationを使用する」チェックボックスをチェックします。
- 2 「確認周期の設定」で周期条件を設定します。使用経過時間の他に、月や週などの一定の日数で詳細に周期を設定できます。
- 3 「OK」をクリックして設定を完了します。



メインウィンドウの通知欄に次回定期キャリブレーションのお知らせが表示されます。



設定した時間を迎えると、メッセージが表示されます。SelfCalibrationが自動で実行された場合は表示されません。

ICCPファイルってなに?

ICCプロファイルとは、モニターがどのような色を表示するかという情報をシステムに伝えるデータファイルのことです。ColorNavigator 7でのキャリブレーションが終了すると、「ICCプロファイル」が生成され、自動でコンピュータのOSに設定されます。これは、表示レタッチソフト、プリンタ、モニターを使って、カラーマッチングをおこなう上でとても大切なことです。ICCプロファイルの情報を定期的に更新するために、1年に1度ColorNavigatorによるキャリブレーションをおすすめします。





■EIZO、ColorEdgeはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。■ColorNavigatorはEIZO株式会社の商標です。■Adobe、Lightroom、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。■Canon、PIXUSはキャノン株式会社の登録商品です。■EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。■Mac、macOS、OS Xは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。■Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

製品に関するお問合せは
EIZOコンタクトセンター 受付時間 月～金 9:30～17:00(祝日、当社休業日を除く)
ナビダイヤル  **0570-200-557**

製品に関する情報はEIZO Webサイトで www.eizo.co.jp

EIZO株式会社

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

Copyright © 2019 - 2020 EIZO Corporation. All rights reserved.

00N0N127C1
UM-HANDBOOK-CN7-JA 
3rd Edition - May, 2020 Printed in Japan.